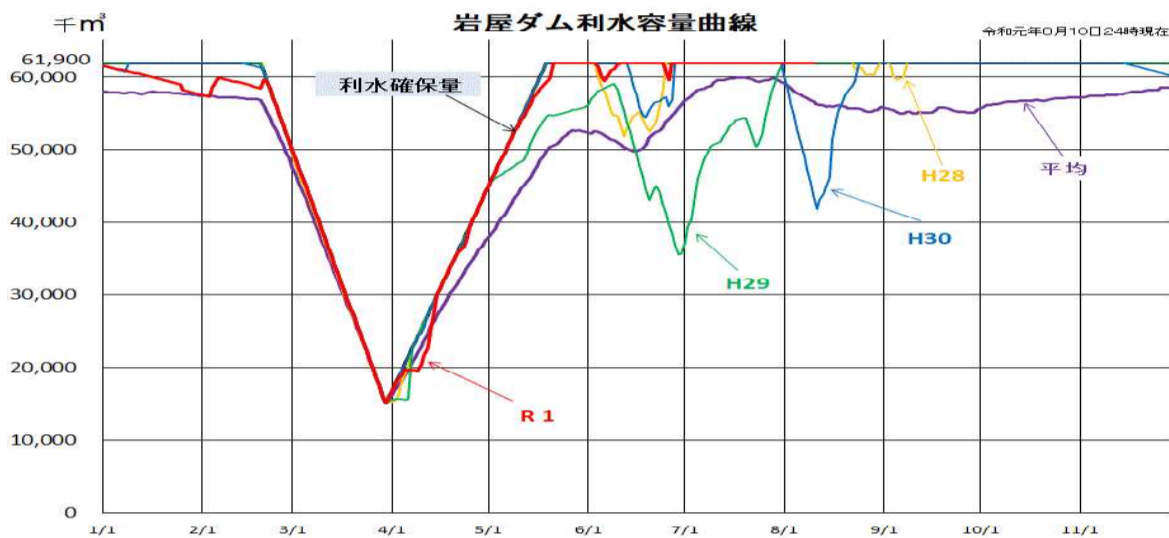




**岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン (貯水率100%)**  
**農業用水取水量 2,238万トン (取水率53.4%)** (ともに8月10日現在)

暦の上では秋となりましたが依然として暑い日が続いています。受益者の皆様には早植えの収穫を控え、準備にお忙しいことと思います。

さて、水源地である岩屋ダム地点での7月の降水量は、375mm(平年比95%)と平年並みの状況でありました。また、岩屋ダムの状況(利水貯水率)は、8月10日現在、6,190万トンと満水状態になっています。東海地方の向こう1か月の天候の見通しは、平年に比べ晴れの日が多く、期間の前半、気温がかなり高くなる見込みとのことです。出穂期・登熟期は水を多く使う時期でもあり、引き続き今後の降雨、貯水状況には注意をしていく必要があります。



一方、農業用水取水量は、8月10日現在、2,238万トン(取水率53.4%)で、過去3か年の平均取水量より186万トン程少なくなっています。本年の水稲用水使用期間もあとわずかになりました。利水者の皆様には、河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用していただくとともに、降雨時には給水栓を閉めていただき、右岸用水の有効活用にご協力をお願いします。

## ☆☆ 木曾川右岸緊急改築事業の推進を要望 ☆☆

平成27年度に事業採択を受けた「木曾川右岸緊急改築事業」は、木曾川用水上流部の農業用水や都市用水の安定的供給のため、老朽化の著しいPC管の改築(約6.6km)及びトンネルの背面空洞充填工事(約9.3km)を行うもので、令和2年度までの6年間の工期、総事業費約50億円(※1)で事業が進められています。今回の事業は、機能診断により緊急的に改築事業を行うことから、令和2年度においても計画的な事業の推進と早期効果発現のために必要な予算5.4億円(※2)を確保できるよう主務省等の関係機関に要望するものであります。伊藤連合理事長はじめ員外理事(各単区理事長)一丸となって、農林水産省、水資源機構、地元選出国會議員、県等に強く要望を行いました。

※1 令和元年7月1日付けで事業実施計画の変更に関わる主務大臣の認可  
 事業費45億円→約50億円(資機材単価の変動や工法変更等による)

※2 平成27~30年度までに約36.7億円執行。令和元年度予算額7.9億円。



田中水資源機構中部支社長に要望書を提出(7/18)



富田東海農政局長に要望書を提出(7/18)



河合岐阜県副知事に要望書を提出(7/23)



大野県土連専務理事に要望書を提出(7/23)



金尾水資源機構理事長に要望書を提出(7/30)



奥田農水省農政局次長に要望書を提出(7/31)



渡辺猛之参議院議員に要望書を提出(7/31)

他に、金子俊平衆議院議員、武藤容治衆議院議員、今井雅人参議院議員、大野泰正参議院議員、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員にも要望書を提出しました。